



副議長 佐藤真治



5期

愛と夢の公正な
分かちあいのために



県議会副議長

www.satoshin.jp/
さとうしんじ



副議長就任挨拶 27年5月15日

ただいま議長から名誉ある第66代岡山県議会副議長当選の告知をいただきまして、身に余る光栄でございます。謹んでお受けいたしますとともに、心から感謝を申し上げます。

今後は、小野議長をしっかり補佐し、地方創生が叫ばれる今、岡山県を持続的に発展させていくため、議決権を持つ我々議会、その構成員である我々議員みずから、より政策形成能力を高め、より県民の皆様に関かれ、より信頼され、より権限が強くなるよう、微力ながら全力を尽くしてまいります。

私は、決して特別な才能や条件に恵まれた者ではない、まさに庶民であります。多くの皆様や家族に育てていただきました。そして、今も、まさにその最中かもしれませんが、数々のピンチをチャンスに変えてきた自負があります。そこから感じている私の政治に携わる根底にある思いは、1度しかない人生において、それぞれの人間がその人生で最高の主人公でないといけないう願ひであります。限りある命ですが、どんな命でも、必ず意味が、理由がある、人生でその命を輝かせるために、あえて言えばそうした人生の舞台づくりの裏方の仕事が、政治だというふうに思います。

そして、政治に関わる者が持つべき三木行治元知事の「私なき献身」、また西郷南洲翁遺訓30条、「命もいらず、名もいらず、官位も金もいらぬ人は、仕末に困るもの也。此の始末に困る人ならは、艱難を共にして、国家の大業は成し得られぬなり」という、まさに私心を廃し、感謝を持って、利他に生きる精神を貫いてまいりたく存じます。

どうぞ議員の皆様方はもとより、伊原木知事をはじめ執行部の皆様方、報道関係の皆様方、そして何よりも、広く県民の皆様方より一層の御支援、御協力を賜りますよう心からお願いを申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、副議長就任の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございます。

岡山県議会副議長 佐藤真治



安倍晋三総理総裁と

伊原木知事と

2015統一地方選挙 私の公約

- ①子育て世代として、子ども達の未来と先輩方の安心を守ります。
- ②児島湖・湾流域の防災対策を進めます。
- ③豊かな山と海を回復し、安定した水供給を図り、農林水産業を支援します。
- ④六次産業化、金融支援、販路拡大を進め、中小企業を応援します。
- ⑤私自身が、がん患者として、病や障がい当事者やご家族の皆様と乗り越えていける社会を創ります。
- ⑥五期を目指す県政の中核議員として、さらなる行政改革、議会改革を進めます。



さとうしんじ事務所

〒700-0944 岡山市南区泉田417-1
TEL 086-250-3818
FAX 086-250-3828
E-mail: satoshin@optic.or.jp

佐藤真治 プロフィール

総務、農林水産、産業労働警察、文教、行革委員会の各委員長、監査委員を歴任。

昭和39年(1964年7月25日)生まれ 干支は辰。獅子座。A型。
岡山大学教育学部附属中学校(第32期生)・岡山一宮高等学校(第1期生)・早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。会社員などを経て、平成5年より、逢沢一郎代議士秘書。平成11年4月岡山県議会議員選挙初当選。平成15年再選。平成19年3選。平成23年4選。平成27年5選。
次世代に誇れる児島湖・湾を考える議員懇談会事務局長・保護司・岡山県洋裁技能協会会長・岡山県自転車競技連盟会長・岡山県バイコロジーをすすめる会会長・岡山県相撲連盟副会長・岡山県弓道連盟顧問・財団法人桃太郎少年合唱団理事・社会福祉法人南野育成園理事・落書き調査隊副隊長 など
好きな歌手 馬場俊英

地域の安全・安心のために

継続して落書き消去活動



真夏の落書き一斉消去活動です！ 岡山県青年団協議会、ちよこつボランティア、岡山ライオンズクラブ、さら支部と一緒に。



初平成11年 初当選
心忘るべからず!!



県政報告

行財政改革・教育改革・防災対策に待ったなし!!

55 〈平成26年9月定例会(2014年9月25日)〉より

一般質問項目

- | | |
|---|---|
| 1 任期の折り返しを迎えることについて
(1) 感想等
(2) 成果
(3) 現場主義 | 3 平成16年の台風による高潮被害場所の現状認識等
(4) 児島湾締切堤防への排水ポンプの設置 |
| 2 情報公開の意識について | 5 防災面からのため池活用 |
| 3 県のキャッチフレーズについて
(1) 費用等
(2) 認識
(3) 晴れの国岡山のフレーズ使用等 | 6 公共交通機関との連絡調整 |
| 4 県総合グラウンド駐車場の無料利用時間について | 9 公的雇用の拡充等について |
| 5 楽天イーグルスのキャンプ等について | 10 教育格差の是正について
(1) 中学校の成績等
(2) 地域間格差等の認識等 |
| 6 社会教育団体等の補助金について | 11 イオンモール岡山の進出について
(1) 岡山市中心部へのアクセスポイントの渋滞予測等
(2) 非行防止対策
(3) JR岡山駅への路面電車の乗り入れ等県生協力 |
| 7 公共工事の現状認識等について | |
| 8 防災対策について
(1) 消防団等への思い
(2) 農業用水路の管理 | |

8 防災対策について

(1) 消防団等への思い

(佐藤) 台風11号は甚大な被害が予想されたが、児島湖では土地改良区による早め早めの水位調整が行われて十分な備えができ、また、排水機場が止まらないよう、夜通しで流れてくるごみや藻を取り除くなど、多くの方々の努力で被害を防ぐことができた。そうした方々に対する知事の思いを伺いたい。

(知事) 防災対策についての、消防団等への思いについてであるが、児島湖の防災対策については、平成23年の浸水被害を受け、関係市・町や土地改良区との協議により定めた対応マニュアルに基づき、今回、それぞれが早め早めの対策を実施され、被害を防ぐことができて良かったと感じているところである。

あらためて、児島湖の関係者を始め、県下各地で被害防止のため防災活動を実施された消防団等の皆様のご尽力に対し、深く敬意を表する次第である。



(2) 農業用水路の管理

(佐藤) 周辺に農地が無い農業用水路にある藻やごみで、排水機が止まる可能性があるが、周辺の都市化が進む農業用水路の管理について、市町との連携や早急な対策について、伺いたい。
(知事) 次に、農業用水路の管理について、農業用水路に発生した藻やゴミに起因して排水機が停止する可能性もあることから、県は、農業用水路を管理する市・町に対して、藻刈りやゴミの除去など適正な管理を行うとともに、除塵機の設置など必要な対策に取り組むよう助言しているところであり、引き続き、市・町に対し、適切な対応を求めてまいります。

(3) 平成16年の台風による高潮被害場所の現状認識等

(佐藤) 平成26年度総合防災訓練が、津波を想定して岡山港福島地区耐震バースで行われたが、平成16年の台風16号では、最も海水が上がってきた場所で、津波より高潮対策が気になる場所だ。今年の台風11号では、対岸の小串・甲浦地域では、堤防の老朽化により、堤防から海水が染み出ている場所が多くあった。加えて、単位町内会に一つ以上、可搬式ポンプを配備する必要も強く感じた。16年台風で高潮被害が出た場所の現状認識と対策について伺いたい。

(知事) 平成16年の台風による高潮被害場所の現状認識等について、堤防等の老朽化や高さの不足した箇所が残っている。

こうした箇所については、老朽化の度合いや、高さ不足の状況、背後地の重要性などを勘案し、優先度の高い箇所から岡山沿岸海岸保全基本計画に基づき、着実に整備を進めている。

また、平成16年の台風時に排水不良の原因となった水門等の整備も併せて実施している。なお、可搬式のポンプを配備することについては、それぞれの市で必要に応じて判断されるべきことと考えている。

(4) 児島湾締切堤防への排水ポンプの設置

(佐藤) 児島湾締切堤防の排水力を高めるために、排水ポンプを設置することについて、知事自身が具体的にどう動いているのか、伺いたい。

(知事) 児島湾締切堤防への排水ポンプの設置についてで、昨年9月に国の報告を受けた後も、担当部局を通じて、追加の検討を要請するなど、強制排水ポンプの必要性について、国と議論した結果、ポンプ設置の必要性は極めて低いとの結論に至ったところである。



(5) 防災面からのため池活用

(佐藤) 児島湖の水位調整のように、台風や大雨が降る前に、ため

池の水位を下げられないか。防災面から既存のため池は大丈夫か、また逆に、防災施設としての活用についてはいかがか、併せて伺いたい。

(知事) 防災面からのため池活用について、ため池は、毎年、管理者である市・町等が点検を行っており、漏水が見受けられるなど緊急性の高いものから順次改修を行い、安全管理に努めているところである。

また、ため池の水位を事前に下げることについては、営農に支障が出る時期もあることから、農家の合意が得られにくく、防災施設としての積極的な活用は難しいと考えている。



(6) 公共交通機関との連絡調整

(佐藤) 二級河川の宮川も、砂防指定地の前川も、JR宇野線の下を潜る形になる。こうした箇所の拡幅には、粘り強い交渉と高額な予算が必要だ。崩落事故により不通になったこともあるJR津山線を含めて、公共交通機関であるJRとの連絡調整による防災対策が必要だが、どういう調整を取っているのか伺いたい。

(知事) 公共交通機関との連絡調整についてであります。平成18年のJR津山線での崩落事故を受け、道路と鉄道が近接する区間については、JRと災害時の緊急連絡体制を整備し、情報の共有を図っている。

また、建設工事に伴うJRとの連絡調整については、建設工事公衆災害防止対策要綱等に基づき、毎年、連絡調整会議を開催しているところであり、お話の前川などについては、この会議を活用し、早期整備が図られるよう取り組んでまいりたいと考えている。



10 教育格差の是正について

(2) 地域間格差等の認識等

(佐藤) 地域間格差や学校間格差についての認識と対策、義務教育で基礎学力を身に付ける同じ土俵に立てていない子どもたちや家族への支援について伺いたい。

(知事) 地域間格差等の認識等について、地域間格差や学校間格差などについては、家庭の経済状況等様々な要因が考えられるところである。

子どもたちの置かれた環境の違いが、学力格差に結びつかないようにすることが重要であり、県教委では、課題を多く抱える学校に対し、教員を加配するとともに、地域の協力も得ながら放課後等を活用した補充学習を行うなど学力の底上げに取り組んでいるが、こうした取組が進むよう支援するとともに、現在策定中の子どもの貧困対策についての計画の中でも検討してまいりたい。

56 〈平成26年12月定例会(2014年12月12日)〉より

一般質問項目

- | | |
|--|--|
| 1 地方創生への意気込みについて | (2) 支援 |
| 2 長野県政の感想について | 7 小規模企業支援について |
| 3 ESDに関するユネスコ世界会議について
(1) 意義等
(2) 公民館・CLO国際会議
(3) NGO支援 | (1) 認識
(2) 地域振興における連携
(3) 中央卸売市場等への支援
(4) 人材育成 |
| 4 戦没者の慰霊について
(1) 式典当日の対応等
(2) 70周年の追悼行事 | ア 技能尊重気運の醸成
イ 職業教育支援 |
| 5 瀬戸大橋について
(1) 認識
(2) 架橋に関する資料等 | 8 自転車施策について
(1) 大規模自転車道の整備
(2) 政策体系の構築
(3) タンデム自転車
(4) サイクルアドバイザー
(5) ナンバープレート制等の導入 |
| 6 LRT化構想等について
(1) コンパクトシティ | |

4 戦没者の慰霊について

(2) 70周年の追悼行事

(佐藤) 福岡県など、県として追悼行事を行っているところは、いくつもあり、岡山市でも毎年6月29日に戦没者追悼式を開催している。来年は、戦後70周年という大切な年であり、本県としても感謝の誠をささげ、恒久平和を誓う姿勢を示す働きかけが必要だが、認識を伺いたい。

(知事) 本県では半世紀という大きな節目である戦後50周年において、国の平和を祈念し、戦争犠牲者の冥福を祈り、遺族を慰藉(いしや)するための式典を挙行了したところである。

県として、戦後70年の記念行事は予定していないが、今後とも、全国戦没者追悼式や、沖縄の「岡山の塔」で毎年実施している「沖縄及び南方諸地域戦没者追悼式」などを通じて、戦争の悲惨さや平和の大切さを広く県民に伝えてまいりたい。

7 小規模企業支援について

(1) 認識

(佐藤) 大企業誘致も重要だが、小規模事業者が経済の中心で持続的に活躍できる支援が必要だ。小規模企業振興基本法成立を踏まえた変化が実感できる施策の具体的な展開が望まれるが、小規模企業と基本法に対する認識、伴走型支援を行う団体との協力体制の構築と経営発達支援計画への対応など商工会及び商工会議所に対する応援等の認識を伺いたい。

(知事) 小規模企業は、地域経済の活性化と地域住民の生活を支える重要な担い手であり、小規模企業振興基本法は、中小企業基本法の基本理念である成長発展のみならず、新たに事業の持続的発展を基本原則に位置付けた意義深い法律であると認識している。

また、伴走型支援を行う商工会及び商工会議所とは、さらなる協力関係を築くとともに、その支援のために策定する経営発達支援計画について国の認定基準の把握に努めるなど、小規模企業の振興施策を効果的に行うことができるよう積極的に支援する必要があると考えている。

(3)中央卸売市場等への支援

(佐藤) 地域コミュニティや経済活動を維持する中で、大型商業施設の進出は、市場を介さない形で、流通に大きな影響を与える可能性がある。岡山市中央卸売市場は、地域の八百屋や魚屋などを守っている実態もあり、地方市場も含めて支援を行うべきだが、認識を伺いたい。

(知事) 卸売市場は、生鮮食品の取引適正化と流通円滑化等を目的に設置されており、生産者と小売業者をつなぎ、地域の経済活動を支える重要な役割を担っているが、市場の効率化や活性化は、開設者自らが責任を



持って行うべきと考えている。なお、補助事業や融資制度などがあるので、具体的な相談があれば、適切に対応してまいります。

8 自転車施策について

(1)大規模自転車道の整備

(佐藤) 「瀬戸内しまなみ海道」には、レンタサイクルのターミナルが15か所設置され、来年3月31日まで自転車通行料金も無料だ。愛媛県は、自転車を中心に据えた施策で勢いが付いている。茶屋町見島自転車道に、鷺羽山スカイラインを絡めたり、飽浦一小串一貝殻山一金甲山一八浜一郡と行くコースがあったり、トイレや休憩所の整備などを行えば、決して、しまなみ海道に負けない地域資源はある。地域の活性化を含めて、大規模自転車道の整備についての認識を伺いたい。

(知事) 多くの自転車利用者呼び込み、観光振興や地域の活性化を図ることは大変重要であると考えている。

瀬戸内しまなみ海道のような大規模自転車道の新設は困難だが、自転車利用者を対象とした魅力的な推奨ルートの選定や、ルートを示すラインの整備、休憩施設の案内看板の設置などについて、市町村と連携しながら検討してまいります。



委員会でも積極的に発言しています!! (抜粋)

〈環境文化保健福祉委員会(平成26年8月25日)〉より

児島湖流域環境保全推進月間行事について

(佐藤) 清掃大作戦について、県が笹ヶ瀬新橋会場で清掃を実施するようになったことに伴い、岡山市が相生川会場の清掃を取りやめた。ここで清掃を行わなくなってから藻の大量発生などの問題が発生しているので、是非、相生川周辺の会場を復活するよう岡山市に強く働きかけてほしい。



〈総務委員会(平成27年5月20日)〉より

平成27年度各部局重点施策及び主要事業について

(佐藤) ①資料に「岡南飛行場のあり方の検討結果」が示されているが、かなり具体的に例を示し踏み込んだものになっており、大丈夫だろうかとも感じる。今後、地元とどう調整していくのか。

②「部行政の概要」にある交通安全対策は、車のドライバーをメインに記載されているが、自転車の対策はどうなっているのか。自転車も車両であり、最近道路交通法も改正された。幼稚園児でも乗るものであり、小さい頃から教育していく必要がある。また、被害者の視点からしか書かれておらず、加害者にもなり得ることを就学前から教えておくべきである。



(航空企画推進課長) ①操縦士等の養成施設の誘致などを進める際には、地元や関係事業者の説明、御意見を伺いながら調整を行ってまいります。管理形態や使用料等についても、利用者等との意見交換を重ね検討していきたい。

(くらし安全安心課長) ②現在県では、幼稚園、保育園の幼児・保護者で組織されている幼児交通安全クラブ「ももたろうクラブ」の指導者を育成する事業を行っており、これを通じて幼児への交通安全教育を行っているところである。

また、自転車の安全対策については、5月の自転車月間を中心に安全利用などの呼びかけを行っているほか、昨年度から、小・中・高校生向けのリーフレットをそれぞれ作成・配布し、自転車の交通ルールの遵守などの周知を図っている。6月からは道路交通法が改正され、自転車の違反も講習の対象となる。引き続き、自動車と同様に、自転車の安全対策につ

いても啓発を行ってまいります。

(佐藤) ①岡南飛行場周辺は住宅化も進み、防音、防災についても考える必要がある。地元としっかり調整しながら進めてほしい。

(佐藤) ②自転車の安全教育は、小学校低学年からでは遅い。就学前から、簡単なルールや交通法規を教えるべきである。

岡山県国土強靱化地域計画の策定方針について

(佐藤) 「起きてはならない最悪の事態」が何かについては、各委員それぞれの地元には大きな課題があると思うが、岡山県の特徴として児島湾の締切堤防の存在がある。4年前には南区全域に避難勧告が出て、100年に一度の大雨も降った。締切堤防があるということが岡山県の特徴であり、児島湖周辺だけでなく、内陸の倉敷や総社、早島などの市街地でも水が抜けないことが最悪の事態だ。強靱化には県がやること、市がやることがあるが、連携も含めて児島湾締切堤防にどのような認識を持って進めるのか。



(危機管理課長) 国土強靱化地域計画は、個別計画の指針となるものであり、想定する災害リスクとして、内水氾濫も想定している。「起きてはならない最悪の事態(例)」でも「異常気象等による長期的な市街地の浸水」を想定している。最悪の事態を引き起こす事象として、内水氾濫では、過去の事例も考慮した最大規模の集中豪雨等による広範囲の浸水被害等を想定している。

今後、どの程度の災害が発生するのかを検討しながら、個別計画での施設整備や、施設整備で防げなければ早めの避難等のソフト対策を検討することになる。災害の程度については「少なくともこれ以上のものは起こり得る」

という考え方で、対策を検討していく。

(佐藤) 締切堤防は、甘いものではない。4年前には避難勧告も出ており、リスクが高い。締切堤防から水が抜けないことが問題であり、ハードの問題だ。排水力を高めるか、内水の保水力を高めるか等を含めて、総合対策が必要だ。県全体の計画に組み入れるべき大きな問題だが、国の例示には締切堤防ではないと読める。締切堤防は、岡山県の特長な要素だ。児島湖流域は県の半分を占めるほどの大きさで人口も多い。締切堤防の問題を方針の中に入れてほしい。



成27年度における行財政改革の取組について

(佐藤) 歳入確保対策の取組だが、ネーミングライツについて触れられていない。シティライトスタジアム以外の施設へのネーミングライツの導入は検討していないのか。

(財政課長) ネーミングライツの対象をどこまで広げるか、今まさに検討しているところである。今後、しかるべき時期に協議したいと考えている。

(佐藤) 歳入確保は行革の大きな柱のひとつである。様々な施設があるが、前向きに検討してほしい。



〈総務委員会(平成27年5月29日)〉より

平成27年度6月補正予算協議額について

(佐藤) 一般廃棄物処理対策費について、国庫補助内示に伴う補正とのことだが、今回の海ごみ回収等の事業は、総合政策的にどういったスキームで、県としてどの程度予算要求しているのか。

(財政課長) 当該事業は、国庫補助の内示が遅れたことにより、やむを得ず当初予算には計上できなかったものだが、内容としては、県、市町村等との連携による海岸漂着物等の回収・処理対策のための計画策定や、海ごみを沿岸のゴミステーションや焼却施設に運搬する経費等に係る市町村補助を行うものである。予算要求については、担当部において、市町村の要望等を踏まえて要求している。

(佐藤) 国の予算25億円に対して、岡山県で増補正するのは600万円不足だ。海を意識した制度であるにもかかわらず、瀬戸内海に面した岡山県が予算要求していないのは、海ごみについて何も考えていないからではないのか。海ごみ回収・処理事業は補助率が8/10、離島は9.5/10という有利なものなのに、要求額がこれだけしかないのは、どういうことか。総合政策的に、これでいいのか。

(財政課長) 今回は、国の制度設計が遅れたという事情があることを理解していただきたい。補助要件が決定したのが1月で、それから補助金交付要綱など具体的な制度設計がなされたため、当初予算には間に合わなかったところである。担当部としては、必要な情報を得た段階で所要額を国に要求したものであり、プロセスとしては適切であったと考えている。

(佐藤) 地方創生の議論もされている中、国の予算を取ってこないといけない。広域連携で言えば、例えば本県のゴミが小豆島まで流れていく。香川県では独自の予算をどんどん組んでいる。本県では、おそらく昨年10月の時点で一応、市町村に声をかけていると思うが、例えば、ごみステーションの事業にも補助されるので、市町村から要望を聞いて、4市が手を上げていると聞いている。総合政策的に見て、海ごみの回収等に要する経費は、県に限らず市町村も、獲得している。25億円の国の予算に対し、今回の



600万円では少ないのではないかと。本県の要求額は、全国で何番目なのか。25億円が全て使われていないのであれば、9月補正でもいいので、地方創生の流れの中で、真剣に予算を取りに行く必要がある。意気込みを聞きたい。

(総合政策局長) 海ごみに限らず、事業に必要な予算は各部署が積極的に獲得するよう努めている。私も環境部門にいたことがあるが、海ごみに関して言えば、瀬戸内海は全国の中でも比較的きれいなため、国の予算配分は漂着ごみの多い日本海沿岸が中心であったように承知してい

子育て世代の代表選手として 「子ども達の未来」と「高齢者の皆様の安心」 のために、もっともっと働きます!!

る。国への提案などの方法も考えられるが、単に予算獲得のためだけでは提案を行っていない。瀬戸内海は広域的に対応していく必要があり、連携できる方法を検討していきたい。

(佐藤) 香川県は、本気でやっていることを認識してほしい。ごみは、川からもやってくるもので、例えば、海に面していない真庭市でも、海ごみの原因となる川から流出しないよう、ごみステーションを設置し、排出を抑えようとしている。県が直接、事業主体になっても構わないわけで、広域的に香川県と取り組むこともできる。地方創生の流れの中で、周辺の状況を見ながら本気で取り組んでほしい。今回の国の補助金は余るので、9月補正でも間に合う。有利な補助金なので、環境省等と連絡を取ってしっかり獲得してほしい。



「日本創生のための将来世代応援知事同盟サミットinおかやま」について

(佐藤) 今月23日に子育て世代の知事が集まり「日本創生のための将来世代応援知事同盟サミットinおかやま」が開催された。第1部は石破地方創生担当大臣を迎えて地方創生関係について、第2部は有村少子化対策担当大臣を迎えて子育てなど少子化対策について議論されたが、全体としては地方創生のイベントだった。地方創生の流れの中で、予算を取ってこないといけない場であり、石破大臣だけでなく他の知事にもアピールする場だ。



その中で知事は、企業誘致、地方暮らし等のDVDをよく見ていないと発言したが、本当なら準備不足で、大変由々しきことだ。他県から多くのキャリア出身知事が来岡された中で、民間出身知事として、本気度を示してもらわないといけない。

(総合政策局長) この春、将来世代応援知事同盟に変わったが、もともと子育て同盟サミットとして岡山で開催されるとのことで、子ども未来課が予算を計上し、中心となってイベントの準備を進めたもので、総合政策局もお手伝いをした。

当日は私も会場にいたが、ジョークを交えながら会場の雰囲気や和ませ、主催県として会を盛り上げていた。知事はもちろんDVDも事前に見られていたと思うが、委員のコメントは、お伝えしたい。地方創生で、生き残り

りかけたものは他県に負けないよう競い合う一方、本県だけではできないものは連携していく必要があると考えている。

(佐藤) 知事のユーモアと信じたいが、見ていて恥ずかしかったし、あまり繰り返すと軽くみられる。事前にDVDを見ていないのであれば、担当課は何をしていたのか。反省してほしい。

次回は宮崎で開催されるそうで、保健福祉部ではなく総合政策局が直接担当するのかどうか知らないが、本気度が足りないので、岡山はすごいと言ってもらえるよう、真剣に取り組んでほしい。

(県民生活部長) 当日流れた映像は、当部で作成し、イベント開催前に知事に説明させていただいたところである。

(佐藤) 石破大臣や他県の知事が出席し、岡山を内外に大きくPRする場であるので、プレゼン方法については注意して、真剣にやるよう、知事に伝えてほしい。



〈総務委員会（平成27年6月3日）〉より

「岡山県人口ビジョン素案」及び「おかやま創生総合戦略素案」について

(佐藤) ①地方創生は、岡山県が生き残りをかける戦いであり、その前提として人口ビジョン、総合戦略がある。これで5年後、本当に人口減少が止まるのか。できなかったら誰がどう責任をとるのか。議決案件であれば、議会にも責任がある。

②将来的な人口推計や総合戦略には、このまま国立社会保障・人口問題研究所の推計通りに人口が減少し、目標が達成されない場合、県財政への影響はどうかという観点を盛り込むべきだ。危機感を煽るわけではないが、人口減少が止まらなければ、岡山県はつぶれるというメッセージを明確に謳ってほしい。国がお金を出す



と言っている中で、他県に勝てるよう国から予算を取ってこなければならぬが、どう考えているのか。

③自主防災組織や消防団員、女性消防団員を増やすなどがあるが、県庁職員は、なぜ県庁がある岡山市内のこの地域で消防団活動を行わないのか。近くには大きな会社もたくさんあり、消防団員は、その地域に常駐の者でなくても良い。県庁で何かあれば内山下分団が来てくれるが、逆に県庁周辺で何かあっても県職員は行かない。まずは県庁に消防団を作り、それから県民に消防団員数の増加などを働き掛けるべきではないか。

(佐藤) 県立大学における高等教育の推進について、県内の優秀な人材を確保しなければならない。例えば東京の私立大学では、都外の学生には奨学金を出すなど、圏外からの学生を獲得するために懸命に努力している。本県においても、県内の学生を優遇してでも、県内の優秀な人材が県外へ流出しないよう対策を行うべきだ。

(政策推進課長) ①人口ビジョンについては、人口の現状を示しながら、目指すべき将来の方向を達成するため、資料21頁の人口の将来展望のグラフは長期的なものではあるが、総合戦略に掲げる対策をしっかりと講じて将来展望のグラフの上昇ケースを実現したいと考えている。また、この総合戦略は生き活きプランの基本的な方向を踏まえつつ、人口減少問題の克服等の観点からプランの重点戦略に盛り込まれている各種施策の重点化や組み合わせ等を行うことによりプランを補い、一層効果的・効率的に取り組むためのものであり、議会の議決を得ることまでは考えていない。

②財政への影響については、財政課と協議しながら、示すことができるか検討したい。現在は先行型の交付金で、9.5億円をもらっている。28年度の地方創生の本来の交付金は、まだ国から制度の詳細が示されていないが、しっかり獲得できるよう努めていきたい。



(財政課長) ②将来展望における財政的な影響についてだが、地方創生関連の取組に係る予算は、国において、交付金や交付税という形で確保されており、一義的には国の財源で対応できるよう、国に対して要望していく。



その上で、県の予算については、社会保障関係費の累増等に伴い、今後も厳しい状況が続くと見込まれている中で、毎年度、予算編成時期に今後の収支の見直しを作成しているところであり、見込まれる収支不足については、年度ごとに財源対策を講じていく必要があると考えている。

(消防保安課長) ③消防団加入促進の観点から、職員に対する呼び掛けや、消防団員との兼務手続きに関する規定の整備など、加入しやすい環境を作っているが、個別の消防団への加入の働き掛けまでは行っていない。昼間だけ活動するなど特定の職場の職員で構成される「機能別分団」というものが全国にあり、佐賀県では、佐賀市消防団の分団として県庁分団があると聞いている。岡山市では、「機能別分団」は今のところ検討されていないが、そういった全国の取組は今後も情報提供していきたい。

(佐藤) 国の食料自給率やエネルギー自給率といった現状をみると、将来はとても安心できるものではない。本県はどうやって子どもを増やすのか。夢を語るだけではなく、2110年に72万人になったときの状況など、悪い部分やデメリットも記載すべきだ。

(佐藤) 消防団の話については、岡山市での機能別分団に限らず、県職員にはリーダーとして取り組んでほしい。

岡山県教育大綱案について

(佐藤) 目標として、「心豊かに、たくましく、未来を拓く」人材を育成する、と書いてある。小学校や中学校の校訓としてなら、いいことが書いてあると言えるが、行政が作る大綱に掲げる目標が、これでいいのかと感じる。

知事部局が関わるのであれば、地域に貢献ができる人材が残っていくようなものが、教育目標でなければならない。

危機感が足りないと感じる。社会でより良く生きていくための大学や専門学校、就労についての部分が入っていない。専門学校関係、企業との連携、県立高校の普通科や専門科、スタートラインや根っこの部分の経済格差問題、発達障害の支援なども重要である。基本目標の部分をもう少し精査していくべきだ。



サポートのお願い!!

政治活動を経済的に支える「岡山未来政治研究会」を設立しています。この会は、皆様からの信託を受けた議員として、純粋に自由な立場で地域の将来を考えられるよう、大勢の力で、さとうしんじの活動を支援しようとするものです。

時代の要請に応えられる政治活動を進める中では、政策の研究、会報の発行、事務所の設置、皆様との交流の機会を持つことなど、最低限の費用はかかってきます。これからも精力的に活動を続け、「未来の子ども達へ夢をつなげる政治」を実現させるためにも、「岡山未来政治研究会」の趣旨にご賛同いただき、ご参加・ご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

会費 年間1口1,200円(月100円)
 〈郵便振替口座 岡山未来政治研究会〉
 口座番号 01370-8-57261
 〈銀行口座 岡山未来政治研究会〉
 中国銀行 本店営業部 ほぼ毎日 街宣中です。
 普通預金口座
 口座番号 NO.2672088



FAXホットライン
 応援ファックスもよろしく!

県政に対する「提言」「疑問」を
 どしどし送って下さい!!

Call Me! 呼んで下さい! 「ミニ集会」

少人数でも結構です。場所は
 問いません。堅苦しいものでなく、
 身の回りのことから、
 いろんな話をしてみませんか?